



Simplex Institute

オプション取引入門

2018年10月31日

ご注意事項

本資料は、セミナーの為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

金融商品取引法にかかるリスクと費用等のご説明

【株価指数先物取引にかかるリスク】

株価指数先物・オプションの価格は、対象とする株価指数の変動等により上下しますので、これにより損失が生じるおそれがあります。また、株価指数先物取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る額の取引をおこなうことができ、大きな損失が発生する可能性があります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。株価指数オプション取引はオプションを行使できる期間には制限があります。また、株価指数オプションの市場価格は、現実の株価指数の変動等に連動するとは限りません。価格の変動率は現実の株価指数の変動率に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失が発生する可能性があります。

【株価指数オプション取引における買方特有のリスク】

株価指数オプションは期限商品であり、買方が期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、買方は投資資金の全額を失うこととなります。

【株価指数オプション取引における売方特有のリスク】

売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、売方は、株価指数オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れまたは預託しなければなりません。その後、相場の変動により証拠金の額に不足額が発生した場合には、証拠金の追加差入れまたは追加預託が必要となります。所定の時限までに不足額を差し入れない場合等には、建玉の一部または全部を決済・処分させていただく場合もあります。この場合、その決済で生じた実現損失について責任を負う必要があります。売方は、権利行使の割当てを受けた際には必ずこれに応じる義務があり、権利行使価格と最終清算指数(SQ値)の差額を支払う必要があります。

【株価指数先物取引にかかる費用】

株価指数先物取引の委託手数料は、278円(税込:300.24円)/1枚がかかります。日経225ミニ取引の委託手数料は、38円(税込:41.04円)/1枚がかかります。

【株価指数オプション取引にかかる費用】

株価指数オプション取引委託手数料:売買代金の売買代金の0.18%(税込:0.1944%)※ただし最低手数料:180円(税込:194.4円)がかかります。

【委託証拠金等について】

株価指数先物・オプション取引をおこなうには、委託証拠金の差し入れが必要です。必要委託証拠金はSPAN(シカゴマーカンタイル取引所が開発した証拠金計算方法)によって計算され、

「(SPAN証拠金額×当社が定める証拠金掛目)-ネット・オプション価値総額+先物両建て証拠金」となります。※先物両建て証拠金=(建玉枚数-ネットデルタの絶対値)×0.5×日経225先

物取引1枚あたりのSPAN証拠金×当社が定める証拠金掛目※日経225ミニ取引は、日経225先物取引の1/10の証拠金でお取引が可能です。

商号等：楽天証券株式会社

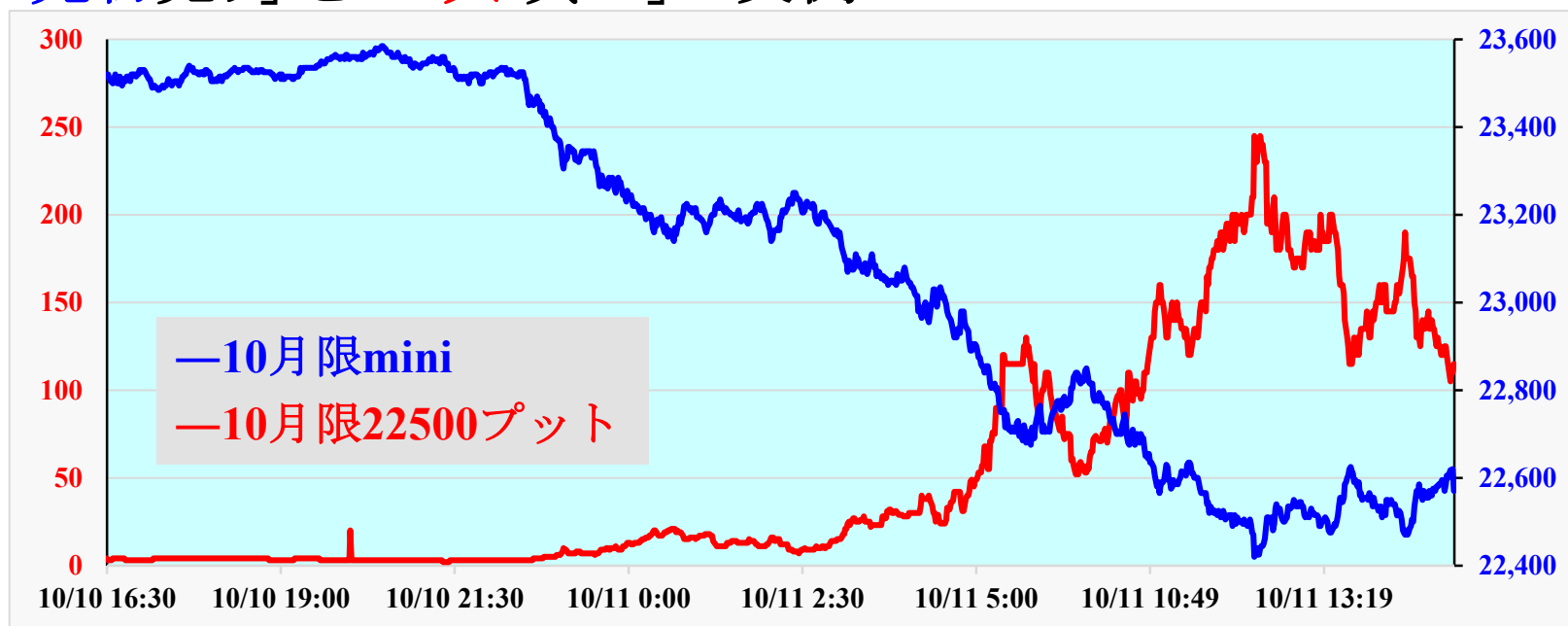
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会

2018年10月10～11日の市場

「先物売り」と「プット買い」の実例：



	10日 20:00	11日 12:20	損益(円)	証拠金(円)	収益率
10月限mini	23,560	22,430	113,000	72,000	157%
10月限22500プット	3	240	237,000	0	7,900%

☆上記は売買例であり、利益を保証するものではない また、手数料は考慮していない

日経225オプションとは？

2018年 10月26日(金)の日経平均の終値は **21,184.60**円

質問 1：

11月9日(金)の日経平均SQ値は (1), (2) のどちらだろうか？

選択肢：

- (1) 21,500円よりも低い
- (2) 21,500円以上

(1) を選んだ方は 次ページへ

(2) を選んだ方は 次々ページへ

日経225プット・オプションとは？

質問 2：

(1) の「11月9日(金)の日経平均SQ値が 21,500円よりも低い」を選んだ方は、次の「権利 P」を買うとすればいくら払うか？

権利 P：日経225プット・オプション(以後, プット)

☆ SQ値が 21,500円を下回った場合, 21,500円を下回る分の 1,000倍の金額をもらえる

例：SQ値が 21,100円なら

$$(21,500 - 21,100) \times 1,000 = 400,000 \text{円}$$

☆ SQ値が 21,500円以上の場合, 何もする必要はない

例：SQ値が 22,000円でも, 一銭も失わない

日経225コール・オプションとは？

質問 3 :

(2) の「11月9日(金)の日経平均SQ値が 21,500円以上」を選んだ方は、次の「権利 C」を買うとすればいくら払うか？

権利 C : 日経225コール・オプション(以後, コール)

☆ SQ値が 21,500円以上の場合, 21,500円を超える分の
1,000倍の金額をもらえる

例 : SQ値が 22,100円なら

$$(22,100 - 21,500) \times 1,000 = 600,000 \text{円}$$

☆ SQ値が 21,500円よりも低い場合, 何もする必要はない

例 : SQ値が 20,000円でも, 一銭も失わない

日経225オプションの銘柄

日経225オプション(以後, オプション)の銘柄を決めるもの

- (1) 「コール」と「プット」の別
- (2) 限月(Weeklyオプションは「X月第Y週限月」)
- (3) 権利行使価格(単に「行使価格」)

例：前々ページの「権利P」はプット(オプション)であり、
前ページの「権利C」はコール(オプション)である
どちらの権利行使価格も「21,500円」、限月は「11月」、
満期日は「11月9日」となる

オプション取引の資金管理

買い手と売り手では必要な資金・損益構造が全く違う

☆ オプションの買い手の場合

(1) 小額の資金から取引可能

(2) 損失は最大でも買付代金まで, 利益は無限定

☆ オプションの売り手の場合

(1) 証拠金が必要

(2) 利益は最大でも売付代金まで, 損失は無限定

→ オプション取引の初心者は「買い」から

オプション価格の動き(1)

特性 1. 日経平均が上昇するにつれ, コールの価格は加速しながら上昇する

特性 1	日経平均	21,500	21,700	21,900	22,100	22,300
	Call 21500	375	485	615	755	910
	価格差	----	+110	+130	+140	+155

特性 2. 日経平均が下落するにつれ, プットの価格は加速しながら上昇する

特性 2	日経平均	21,500	21,300	21,100	20,900	20,700
	Put 21500	375	480	605	745	900
	価格差	----	+105	+125	+140	+155

オプション価格の動き(2)

特性 3. 日経平均が動かなくても、満期日に近づくにつれ
価格は下落する

	満期日まで	21日	14日	7日	3日	1日
特性 3	Call 21500	345	280	200	130	75
	Put 21000	150	100	40	8	1

特性 4. ボラティリティが増大すると価格は上昇する

	ボラティリティ	15%	20%	30%	50%	100%
特性 4	Call 21500	210	315	525	950	2,015
	Put 21000	210	310	515	940	1,990

相場下落を予想した「プット買い」戦略

10月10日の時点で買った行使価格 22,500円のプットが翌11日になぜ大きな利益(3 → 240円)を生んだのか？

理由1. 日経平均が 1,000円程度下落したこと

→ 特性 2により +180円

理由2. ボラティリティが上昇したこと

→ 特性 4により +60円

理由3. 下落が買った翌日だったこと

→ 特性 3により 9月11日に買っていたら利益なし

買う「**タイミング**」とその後の「ボラティリティ上昇」が大事

ボラティリティ

ボラティリティ：収益率の「ブレ」(＝市場価格変動リスク)
価格が変動するものであればすべて計測できる

ヒストリカル・ボラティリティ(HV)：
過去のある期間にわたるボラティリティ

インプライド・ボラティリティ(IV)：
将来のある期間についての、市場参加者のボラティリティの
合意(以下, IV)

→ 市場でのオプション価格から逆算

IVの例

IVを見ただけ

銘柄		日経225ワ*ヨソ		限月		18-11		検索		証券金振替		注文		
建玉	出来高	売気配	買気配	IV	前日比	コール	行使価格	プット	前日比	IV	売気配	買気配	出来高	建玉
13	0		25				20000	165 ↓	+101	36.28	165	160	4801	9426
0	0		25				20125	190 ↑	+119	36.07	185	180	982	878
0	0		25				20250	210 ↑	+129	35.16	210	205	1197	1940
0	0		25				20375	235 ↓	+152	34.61	235	230	509	483
0	2		25	32.45	0	1620 ↑	20500	260 ↓	+155	34.17	265	260	3619	6635
0	0	985	970				20625	290 ↓	+180	33.85	295	290	263	679
5	0	890	880				20750	325 ↓	+190	32.80	330	325	946	2031
1	8	805	790	32.37	-445	825 ↓	20875	365 ↑	+210	32.57	365	360	333	1023
4	35	720	705	32.37	-420	730 ↓	21000	410 ↓	+240	32.04	410	400	3739	9769
0	0	640	625				21125	450 ↓	+255	31.14	450	445	662	1011
210	77	560	550	30.58	-365	550 ↓	21250	500 ↓	+295	30.80	500	495	2111	3052
7	247	490	480	29.82	-345	485 ↑	21375	560 ↑	+325	30.18	560	545	628	1019
22	1410	420	415	29.39	-385	415 ↑	21500	615 ↓	+335	29.48	615	605	2521	12454
127	264	360	355	29.01	-410	360 ↓	21625	620 ↓	+325	26.37		655	149	707
187	1287	300	295	27.94	-395	295 ↓	21750	730 ↓	+370	27.38	750	730	357	5606
209	534	250	245	27.95	-365	250 ↓	21875	800 ↑	+400	27.32	825	805	160	1313
1916	2788	205	200	26.79	-310	200 ↓	22000	900 ↓	+455	26.86	905	885	964	11523
792	1427	165	160	26.27	-245	160 ↓	22125	900 ↓	+400	20.33		845	17	1215
1208	2199	135	125	25.94	-215	130 ↓	22250	1090 ↑	+525	26.45	1090	895	110	4032
398	447	105	100	25.33	-190	100 ↓	22375	815 ↑	+245	25.64		820	3	909
4935	3441	80	79	24.87	-156	79 ↑	22500	1280 ↑	+685	25.08	1280	1260	329	9363

オプションの用語

ある時点での日経平均に対し, それと比べ

高い行使価格のコールを **OTM**(アウト・オブ・ザ・マネー)

低い行使価格のコールを **ITM**(イン・ザ・マネー)

ほぼ同じ行使価格のコールを **ATM**(アット・ザ・マネー)

といい,

低い行使価格のプットを **OTM**(アウト・オブ・ザ・マネー)

高い行使価格のプットを **ITM**(イン・ザ・マネー)

ほぼ同じ行使価格のプットを **ATM**(アット・ザ・マネー)

という

取引の心構え：7カ条

- (1) いかなる戦略(ポジション)も「机上」と「戦場」では多くの「違い」があると考えよ
- (2) 現実でなければ気付かない「何か」があると覚悟せよ
- (3) 想定できる事態すべてに「対処手順」を決めよ
- (4) 決めた「手順」は必ず順守せよ
- (5) 「～だろう」ではなく、「～かもしれない」と考えよ
- (6) 自分の考えに何が足りないか、常に自問自答せよ
- (7) 素直に考え予断を持って臨むなかれ

さらなる勉強のために

大阪取引所から公開されているサイト

『OSE先物・オプション シミュレーター』

(<https://www.fopstudy.com/>)



- (1) 無料で先物・オプション取引を体験
- (2) ゲーム感覚で楽しく学習
- (3) 本格的な取引画面
- (4) 解説動画付きで分かりやすい

講師プロフィール

伊藤祐輔(いとう ゆうすけ)

株式会社シンプレクス・インスティテュート 代表取締役

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業, 1983年同大学大学院理工学研究科後期過程修了。偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け, 1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社。株式部長, 株式デリバティブトレーダーとして10年間マーケットにかかわる。1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現カリヨン証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い, 2000年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任。

安藤希(あんどう のぞみ)

株式会社シンプレクス・インスティテュート 取締役

東京大学教育学部卒業。株式会社シンプレクス・テクノロジー(現シンプレクス株式会社)を経て2014年シンプレクス・インスティテュート入社。投資家向け学習コンテンツ(OSE先物・オプションシミュレーター等)の制作などを手掛ける。個人投資家としてゼロから先物・オプション取引を学んだ経験をもとに、初心者の視点に立ったデリバティブ取引の啓蒙・教育活動を行う。取引所主催のセミナーでは、「先物・オプション取引の基礎」をテーマに講演、自身の投資経験を交えた初心者にも分かり易い解説で人気。

免責事項

当資料の内容は、投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断と責任においてなさるようお願い致します。株式会社シンプレクス・インスティテュートでは、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、一切の責任を負うものではありません。

無断転載を禁ず

当資料の全部、または一部を無断で複写・複製・転載、および磁気・高記録媒体に入力することなどは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

株式会社シンプレクス・インスティテュート

〒105-6319 東京都港区虎ノ門1-23-1

虎ノ門ヒルズ森タワー19階

URL: <http://www.simplexinst.com>

E-mail: info@simplexinst.com